鐵道界に貢獻する素晴しい發明二つ

汽鑵給水處理裝置と軌條注油機

滿鐵理學研究所で

滿鐵理學試驗所ではこのほど鐵道界に貢獻すべき重要なる發明二つを完成し目下パテント申請中である――一つは汽鑵給水處理裝置についての完全な方法で渡邊所長が主となり分析係で完成したものであるが、これが實施された曉は從來鐵道部、惱みの種にしてゐた機關車のボイラー破損を防ぎ、年二百萬圓は節約出來やうといふ

◇…合理化　時代の賜ものである、目下パテント申請中のことで内容の詳細については秘密にされてゐるが機關車に給水する水を淨化しボイラースケールといつてボイラーに附着す水垢をなくするのがこの發明の効果である、元來滿洲の水は内地に比べて硬度高く硬質で東京の水が硬度一度なるに比して滿洲は七度乃至十八、九度あり、遼陽の如きは二十三度といふ惡質であるためボイラー内で

◇…高熱に　あつた水は分解して炭酸カルシウムほか二、三の物質が固まつてボイラーの管に三、四分の厚さに附着してしまふ、そのために滿洲では十日に一度位ボイラーを洗滌せねばならず、これは以前から鐵道部の惱みであり種々防止法も考案されたが、今度いよいよ完全にこの水垢が出來ぬやう給水淨化裝置が發明されたのである、十時間に二百噸位淨化するこの裝置が約二千圓位で出來、近く沿線各汽關車給水所に備へつけられるが、これでボイラーの破損、または爆發の危險を防ぎ滿鐵では大助りとなるもの

◇…モーツ　はレール注油機とでも云はうか機械係の高木技師の考案になるもの、これはレールのカーヴの外側にこの注油機で五十米位油を塗つておけばレール上を走る列車の車輪によつて油が五十キロ位に伸びレールと車輪との摩耗を防ぐといふのである、來年あたりから實施される筈であるが、實施の曉は二十四、五萬圓節[illegible]あるさ

大連港一帶 又も結氷

三日來の寒冷で又も大連港一帶が見事に凍つた、七日朝は風が落ちた加減で殆ど防波堤内八分は氷が張りつめ七八寸から一尺の厚さで碎氷小蒸汽が朝から港内を右往左往してゐる、尚ロシヤ町海岸も同樣凍りついて目下約三十ばいの戎克が釘つけの樣に動きが取れなくなつてゐるが、先月十五日來戎克の出入杜絶した戎克ハトバは例月の約六分の一の貿易高しかあげられず、これが數字を示せば七日迄の統計によると發着戎克九十九隻、積荷噸數三千三百六十五噸である

[illegible]損防止の結果節約出來る譯である

兒童慰安に童話會

滿鐵社員會大連婦人部が沿線に力を注いで

滿鐵社員會大連婦人部ではかねて兒童の樂しみの少い滿洲の兒童に何か慰めとなるもの〱といふ目的から童話會を組織し、昨年末大連において三度童話の夕べを開き非常な歡迎を受けたのでいよ〱當初の目的通り沿線地方にても童話會を催すことに決定、先づ八日午後一時から旅順滿鐵倶樂部でその第一回を催すこととなつた、なほ今後は順次に沿線各地で開く筈であるが、特に沿線の兒童はかうした慰安に惠まれる機會が少ないので大連婦人部では特に沿線に力を注ぐ方針を立てゝゐる

旅順のプログラム入場無料、合唱（一同）お話（池田敏子、都築ミエ、田中カナメ、株田花子、野村茂里）獨唱（株田花子、手島フサ子）二重唱（中澤春子、早川モト）

偽造小洋の行使犯人 逐に捕はる

最近小崗子方面の小賣店より續々として僞造小洋が現はれ、行使者は何れも同一人らしいので所轄小崗子署では極力犯人搜査中のところ、六日に至り最近來連し目下市内長安街七番地に居住せる無職王鐵山（二〇）の所爲なることが判明したので同夜十時ころ王の寢込みを襲つて逮捕し本署に引致取調べの結果、同人は約三十日前天津方面より僞造小洋五十圓を密輸、現在までに約廿五圓を行使してをり引續き前記住所においても小洋の僞造を行はんと旣に石膏を以て鑄型を造りつゝあつたことが判明、盡く現品を押收した、尚同人は婦女誘拐の疑ひがあるので引續き留置取調中

日吉町の火事 放火の疑ひ

七日午前一時二十分ごろ市内日吉町十二番地製材業李萬全方仕事場より發火せるを家人が發見し消防署に急報同二時半消防隊の活動によつて製材工場一棟一戶を全燒し大事に至らず鎭火したが、失火原因について不審な點があり放火ではないかと所轄沙河口署では刑事課鑑識係と共に取調中であるが損害は家屋機械その他で約五千圓何れも保險に附してあるさ

宮武選手採用で日蓄に失業哀話

三百圓也の俸給捻出のため日給職工廿六名が馘

【川崎七日發電通】我國野球界の花形慶應大學投手宮武三郎君は慶應卒業と同時に大枚三百圓と云ふ高給で日蓄川崎工場に就職する事となつたが宮武君の入社するに當り茲に一つの失業哀話が出來た、それは日蓄も事業不振で緊縮の折柄この花形選手に支拂ふ給料の捻出に苦心した揚句、遂に日給一圓二十錢の下級職工二十六名を五日附で解雇した、馘首された職工達はこの事を聞くやいたく憤慨し對策を講ずる事となつた（寫眞は宮武選手）

昨夜、更に二名留置

無電事件と別派の新事件發覺

極力内偵の歩を進む

大連署高等係で取調中の無電事件は表面一段落の如く見えたが六日更に別派の事件が發覺し活動の結果、六日夕刻に至り小出某、佐藤某の兩名を留置し、中島警部補は七日引續き多數參考人を召喚取調べを進めてゐるが、上海で捕へられた首謀者の押送を待つて新たに活動が開始されるものと見られ、當局ではこの際無電事件の根絶を圖るべく徹底的内偵の歩を進めてゐる

范家屯で一支那人射殺さる

滿洲沿線范家屯電燈會社警備の支那人某は六日午後九時ごろ會社よりの歸途支那街附屬地において何者かの爲めに背後から拳銃を亂射され其場に絶命せられてゐるのを程經て家人が發見し長春署へ屆出た、檢視の結果所持の金品に被害がない點より見て、怨恨ではないかと見られてゐるが、同夜は長春富士町にも拳銃強盜事件があり、長春署では舊正を控へての強盜續出に全署員を擧げて犯人搜索に努めてゐる（長春電話）

近ごろの寒さに水道の故障頻々

轉手古舞ひの係員連

けふ正午までに既に九十件

立春の聲に内地からの梅だより頻りなるこの頃、大連はこゝ數日來凜烈肌を刺すやうな氣狂ひ寒さで水道の故障續出し、民政署水道係では轉手古舞の繁忙を極めてゐるが、六日の故障は百十件、七日は正午までに九十件、夕方までには百五十件に達しやうと氣を揉んでゐる、コマ鼠のやうに飛び廻つてゐる係員を指揮しながら小島水道技師は

[illegible]においては百十件の百五十のといふけれどこの廣い大連市中の端から端までトビ〱に續出するのでソレは全く想像外の忙しさです

と目を廻してゐた

小崗子署の舊年末警戒

第二期に入る

舊正を目前に控へて小崗子警察署ではいよ〱本七日から十六日迄第二期特別警戒を實施することになつたが、本年度の特別警戒は三浦署長の指揮により從前の特別警戒方法を更に改善せしめた方法を執り非番員三名を一組とする晝夜警戒班を組織し變裝、尾行、潛伏見張等を以て防犯に努め晝間の警戒は從來より施行し來つた武道講習を廢止して戶口調査および警察訪問を嚴重に管内各戶を巡回せしめその都度戶締等を家人に注意して各戶における防犯上の注意を喚起する一方、管内に巣食つてゐる下層支那人の集團部落は殊に事故發生の根源地と見られる關係上不定時に一齊臨檢を行ひ殊に舊正を控へて特に大金を取扱ふ銀行、會社、錢莊、郵便局その他の大商店に對しては特に一組三名を以て編成された責任警戒班を以てこれが警戒に當らせ又非常時の出動準備の爲め武裝した豫備員を本署に常置する外管内において最も警戒手薄の個所と認められる露家屯、伏見臺方面へは時々サイドカー、自動車により署員を巡視せしめてスピード化した防犯に努めることゝなつた

けふは針供養

大連技藝女學校で

人の世のために働いて、働き拔いて尊い犧牲となつた針の供養は七日午前十時から大連技藝女學校で盛大に執行されました、齋場にあてられた裁縫室の正面には女生徒の手になる縫物の數々や美味しさうな澤山のお供物を飾り、硬い縫物のために無殘に折れた針はやさしい少女の心づくしから軟かいお豆腐に美しく並べられてゐる、式は常安寺住職の讀經に初まり三百の女生徒はこれに和唱して冥福を祈り、先生の講話などあつてのちお供へのお饅頭で茶話會に移りました【寫眞は針供養】

めしを喰ふ（八）

獨身者群よ朗か

かた苦しい官員さんの卵は斯くアパートにトグロ卷く

およそ世にも朗らかなものは獨身時代であらう殊にそれが湧る血潮の躍つた若い男性の集團的な合世帶を想像するとき、われらは殺風景な中にも、何かしら爽快さして屈託のない人生の一齣を[illegible]バチエラー群の間に發見する

○……○

旅順の千歲町――續くアカシヤの並木が[illegible]に器用な襟模樣を描いて新市街の中央にガッシリ構つた一廓、關東廳で飯を食つてゐる、若いサラリーメンの蜂窩房――校察だ、校察マン・このアパルマン總息者が自ら稱するやうに、この一廓を巣にする若い朗らかな獨身者群は、餘り若い「官員さん」達を校察的に行く、お役人の卵である

○……○

八疊から十疊位までの室が階上、階下を通じて約六十室、一室に一人多くても二人を經へない、食費は二食で一ケ月十五圓見當、官舍代りに獨身者群が買つてゐるこの蜂窩房は、なんとしあはせなことに室代が要らないのだ

○……○

朝……藍色の防水布が掛けられた階下の食堂で、味噌汁を啜りながら若いコウリヨウ・メンは昨夜の事務報告を始める

「おいT・昨夜は戰線異狀なしかい？」

「なしどころかいTの奴、寄るつて約束しないと素ッ破拔くぞ」

「口惜しいか、それめくサ」

「Tの奴、嬉しく室ごもりで[illegible]を諦め込んでやがると思つてサ、ソッと覗いたら當てられちやつたよ――おーい、ボーイ、飯がないぞッ」

「H君、Tを懲罰に附する動議を提出します」

「僕は寮長としてT君を懲罰に附することを拒否します、理由として[illegible]られた女性の認識は、決していかがはしいものでなく、彼のフイアンセからだからです」

「チエッ―、默なことで合流しやつたれ、さては――」

○……○

この懲罰動議が味噌汁の泡のやうに消えると、一しきりバチエラー達の間に雜談が沸騰する

「おいK、H寮長に、この提案を否決するに決まつてるヨ、お前甘いなア、ほらよ、H君はれ、低官と同時に校察マンを脫退するンだぜ」

「いけれえ、僕の[illegible]目美はしき[illegible]の件かい」

「さうさ、人保を解しろよ、H君三錢切手を毎日六枚宛使つてるンだぜ」

「こりやア、大シガ（校察マンのスラングで、失敗したといふ意味だ）本員は改めてH寮長に對する懲罰動議を提出し、本夕、[illegible]菓子一圓の科料に處します」

「贊成、ヤヤ、ヤヤ、異議なし」

稀代の女白浪に懲役六月の判決

化けの皮を剝ぎ恐入る

今を時めく政友會總裁犬養毅氏の姪だと名乘る稀代の女白浪の公判が七日午前十時長島判官係で開廷された

この女は東京生れ岡勇（二六）といひ花はずかしい十八歲の時、東京地方裁判所で窃盜懲役一年の刑を受けたのが邪道への一歩として爾來北海道、樺太の果まで流れ歩き昨年初め滿洲に入り込んで四平街丸滿食堂で女給に雇はれ中、衣類五十圓を詐取して來連、市内橘立町露天市場事務員山内勇吉方に寄食し東京青山女學校出身で犬養總裁の姪だと吹いて家人を信用させ、揚句の果てが現金四十圓とダイヤ入指環（時價七十五圓）を窃取逃走したものである

判官から「青山女學校出身だといふが實際か」と問はれたが默つて答へず、更に「犬養總裁の姪だといふが、犬養さんはそんな姪を持たぬといつてゐるがどうか」と冷かされ流石の白浪も一言もなくはずかしさうに顏を下げた、最後に「お前は昨年二月まで青島御幸樓で酌婦稼業をしてゐたではないか」と化けの皮をはがれて恐れ入つた、立會檢察官は懲役一年を求刑したに對し懲役六ケ月の判決を言渡された

臺灣海峽で金山丸遭難

住民掠奪を擅に

七日午前二時四十分大連無線電信局では左記遭難通信を受信したので關係の向きにソレ〱通報すると共に引き續き監視中である

日清汽船株式會社所屬汽船金山丸（一、七〇四噸）は臺灣海峽に於て遭難、乘組員全部附近燈臺に避難せり、同社所屬當山丸現場に至り監視中にして同船より得た通報に依れば同船は燈臺に避難中の金山丸幹部と發火信號により辛うじて連絡し得るのみにて詳細不明なるも金山丸は附近住民のため掠奪されつゝありて近寄る能はずその他詳細不明である

山岸、志村組 複試合に勝つ

【マニラ六日發電通】全比島庭球大會出場中の山岸、志村兩選手は六日の複試合に於てサントマス大學のプエンテヴエラ、ツラソン兩選手を左のストレートセットで破つた

山岸・志村　六―一、六―一、六―二　プエンテヴエラ・ツラソン

宇和島丸 氷に閉さる

七日高地山下汽船の慨報によると汽船隆昌丸が秦皇島を出帆上海に向はんとしたところ、秦皇島を去る南廿五浬の地點で約千噸位の汽船が氷塊に閉ざされ進退に窮してゐるのを發見これが救助方を依賴して來た、尚同船は宇和島運輸の宇和島丸であると

家出の人妻

夫から捜査願

香川縣高松市栗林町二九〇森健助妻コキヌ（三〇）は去る一月十五日病床に喘いで居る義母および同じく病床にある二兒を置いたまゝ滿洲方面に赴くといふ遺書を殘して家出したので、夫健助は病人を殘して働きに出ることも出來ないため、その後は生活にも窮するやうになり困窮して居つたところ、最近妻コキヌより夫に宛て大連沙河口よりとある書状が來たので夫健助は五日沙河口署へ捜査方を書面を以て願出でた

南支視察へ二團體出發

けふ奉天丸と華山丸で

七日出帆の奉天丸、華山丸によつて北支及び上海視察の二つの團體が旅立つた、午前八時出帆の華山丸では錢鈔信託の一行日支人合せて十八名、これは錢鈔信託の小澤新之輔氏が音頭取りで纏のあつたもの許り賑々しく乘船、一行は約半ケ月の豫定で天津、北平を觀察南下して南京、上海方面の經濟視察をなすものである、更に午前十一時出帆の奉天丸では滿洲輸入組合主催の上海視察團一行八十名組合事務長神成季吉氏がリーダーで奉天、大石橋、撫順、旅順方面からも五名十名と參加し多數の見送り裡に出發したが、約一週間の豫定で上海における經濟視察特にショーウインドの研究に馬力を掛けてくると

安奉線で貨物列車故障て各車遲發

六日第二一四貨物列車は安奉線草河口、通遠堡間にて貨車一輛に故障を生じ運行不能となつたゝめ橋頭驛より救援車が十九時五十七分現場に急行二十二時十分修理を終つた、損害五十圓餘、尚同事故のため第八旅客列車は草河口を四時間六分、第二一四貨物列車は草河口を六時間七分、第二二二列車は草河口を三時間八分、第二二九列車は通遠堡を五時間十六分、第二四三列車は林家臺を二時間十三分それ〲遲發した

北平看板寫眞展

李文權氏は支那社會各層の物知りなるが、また各般の蒐集家として知られてゐる今回、三越樓上に陳列した北平看板寫眞一百種の如きは對支貿易を云々するものゝ是非一覽せねばならぬものであり、また支那研究者の見て置かねばならぬものである、同時に梅蘭芳の寫眞一百枚を陳列してあるが近頃稀に見るの珍品といふべきである　開會期は八日までゞある

船艙に墜落即死

六日午後三時過ぎ十四番バース繋留の利通號が芝罘に向つて出帆せんとの間際、一乘客が甲板より船艙に墜落即死したので大騷ぎとなつたが、該死亡者は山東生れ王嘉仁（四五）と稱し永らく滿洲で働いてゐたものが寄る年波と故郷戀しさにひかれてゐたもので哀れなのは折角貯へた小金をしつかり身體にしばりつけてゐる事だつた、[illegible]は餘りの寒さに足の自由が利かなかつた爲であると

俠艶一代男 (183)

来田華紅 作
伊藤幾久藏 書

血に笑ふ三人(七)

「俺が這奴を手にかけたのは、事情があつて、此奴許りは、この世へ生かして置けれえからだ。お兼！お前は俺の言ふことが、本當か噓言か？俺の、この眼を見てくれたなら判るだらうよ」

與膳が、じッとおのれの眼を指さして、お兼を見詰めた。

行燈の灯影にキラ〳〵と涙が、まつ毛に光つて居る。

「あらッ！芳さん、お前、泣いてゐるね」

與膳は、無言に頷いてみせた。

「私ア、お前の泣くのを始めて見た。どんな仔細か、私に話しておくれ！私ア何だか氣掛りでならない」

お兼も何かしら不安な氣を覺えて來た。

「俺アこの足で、お番所へ名乗つて出るんだ」

「えッ！お前、そ、それは本當かえ？」

愕然として、膝ずりに進み寄つたお兼は、瞳を瞠らせて訊れ返した。

「何の虚言を言ふものか？俺ア急に世の中が恐ろしくなつた。いや手前のしてゐたことが恐ろしくなつたんだ。詳しい事情は俺の胸に畳んで、死んで行く積りだ。お前にさへ隠されえのだから、黙つてくれるな。だがなアお兼！お前もい、加減に悪い足を洗つてどんな窮屈住居、しがれえ活しはしてゐても、どうかこの先堅氣で世間を渡るやうにして貰ひてえ」

與膳の聲は一層にしんみりと沈んだ。

「芳さん。お前、私が今更堅氣に活して行けるとお思ひかえ？私だつて適にはふとそんな氣持に操はれる事もあるけれど、我らお兼が心を入れ替へ、善人になりましたと云つてみた所で、世間はさうさ識じては呉れやアしない。泥沼に足を突ッ込んだなら汚れて活す一生さ。破れかぶれ、毒を喰はゞ皿までの譬への通り、お前さんにした所で、今更名乗つて出てみたにしても、世間ぢや一向に褒めちや呉れないよ。さん〴〵に悪事の限りを盡した身だもの、どう斷定しても、引き廻しの上、獄門でもないが獄門晒し首。ねえ、あんまり感心した最後ぢやないやね。それも悪運盡きて、お官の手に掛つたと云ふなら、まだ諦めもしやうけれど、自分で名乗つて、こんな目に逢つちや、それこそ浮ばれやしない。地獄のお閻魔さまにしろ、お前が今更改心して、善人顔して出向いた所で、どうしてなかなか極樂の方へは廻してはくれないのは知れてゐる。それよりは面白おかしく、生きられるだけ生きるのが當世だね。そんな陰氣臭い話なんか罷めにして、夜が明けないうち私の家で、しつぽりと、久し振りに雪見の酒でも汲もうぢやないか？ね、芳さん、改心の、何のと、そんな事こそ、もうふッつりと思ひ切つて貰ひたい。ねえ、お兼さん、さうぢやないか？」

お兼は老婆の方へ振り向いた。

「あいよ。全くだね。火の玉小僧と、江戸で知られた悪黨が、俄に臆病風に取りつかれたもんだね。たつた今、眼の前で人殺しをやりながら、心を入れ替へて改心した？うふッ！」

と、老婆は氣持の悪い含み笑ひを漏らし

「與膳さん。お前さんが生臭坊主の説教なんか眞似るのは柄でないよ。それにお奉行所へ自首？自首なんて云ふのは、悪黨仲間ぢや大禁物だよ。足腰が立たなくなつて喰ふに困つてすることさ」

夜鷹遣り手の老婆も、お兼の尾について、くど〳〵と這り返した。

「さうか」

と、與膳は腕組みをしたまゝ首を振つて涙を拂ひ

「お前たちには、まだ俺の氣持は判るめえ。十三の時鬼の時、奉公先の主人の金、三十兩を奪つて、故郷の加州金澤を飛び出して二十年餘り、悪事と云ふ悪事はしつくした。悪黨仲間でさへ、薄氣味悪い、危れえ野郎と云ふ所から、火の玉小僧の異名を貰つてゐたが、踏られえ事を自慢にし俺の一生を棒に振つてしまつたよ。今更愚痴を言つても始まられえ。さうだ」

と、與膳は急にすつくりと立ち上つた。

キネマと演藝

鼈甲齋虎丸 來十一日開演

關東派浪曲界の重鎭鼈甲齋虎丸の來演は久しい間浪曲ファンから待望されてゐたところ既報の如く愈々來連することに決定した、一行は鼈甲齋吉衛門を始め虎丸一門の俊才のみで内容の充實した一座を組織し七日門司出帆のはるぴん丸に乗船し來る九日來連、十日は休養して十一日より僚紙大連新聞社の後援を得て華々しく五日間歌舞伎座に於て開演すると

映畫俠艶一代男
來る二十日までに
大連で封切試寫の豫定

本紙夕刊連載中の新講談「俠艶一代男」は既報の如く東亞キネマ時代劇にて映畫化することに決定し既に堀江大生監督、青柳龍太郎主演、小川雪子助演の下に撮影を開始したが降雪のため完成が遅れ豫定の紀元節封切には間に合はず連日全力をあげて製作を急ぎつゝあり近く完成の見込みで本社にては東亞キネマと目下封切日の交渉中で遲くとも廿日までには大連にて封切試寫會を催す豫定である

悲歌

最初に聽くウファトンとして期待された獨逸ウファ社の發聲映畫である、監督は「ハンガリア狂想曲」と同じハンス・シュワルツで矢張りハンガリアの物語り。

▼…主演者も亦「ハンガリア狂想曲」のアイタ・パーローであるが「ハンガリア狂想曲」や「ニーナ・ペトロヴナ」ほどに甘美な作品でない、最も映畫的に要領よく筋を運んでゆく手法は例によつて例の如く鮮やかなものである。

▼…このシュワルツの手法はそのまゝトーキーにも及んでゐて、煩はしいダイアローグの氾濫を防ぎサウンドピクチュア的効果をあげることに努力し成功してゐる。臺辭の少いことが何よりよく、而もパーローの美しい聲やフリッチの朗かな唄聲を深く印象にとゞめさせてトーキーの良さを充分にきかしてゐる。

▼…主演者パーローは何と云つても百姓娘が絶品で助演者のフリッチも軍服姿がいゝ。そして映畫に音が加つても映畫の良さが殘つてゐることに嬉しくなる作品である【常盤座上映中】

ウファ映畫鑑賞會
ウファ映畫鑑賞會にては八日午前

大仇ケ原の涙陣　嵐寛壽郎主演作品、巾着切【東亞キネマ時代劇稲本歴文監督、高木新平主演、大仇討物語】(次週常盤座上映)

第廿九回 滿日勝繼碁戰 (覇淺二回目戰)

先互先　淺倉唯二氏　藩田傳介氏

●一〇一 ニ十八	○一〇二 ハ十八	●一〇三 ホ十五
○一〇四 ニ十六	●一〇五 ハ十四	○一〇六 ヘ十四
●一〇七 ホ十四	○一〇八 ニ十九	●一〇九 ホ十九
○一一〇 ホ十八	●一一一 ホ十二	○一一二 ホ十一
●一一三 (一〇一の處劫とる)	○一一四 ハ十九	●一一五 ロ十七
○一一六 (一一〇の處劫とる)	●一一七 ホ十三	○一一八 ヘ十一
●一一九 劫とる	○一二〇 ロ十六	

—【6】—

噂話

▶大連館の栗山司郎が支那の山海關駐屯隊長から仰々しい感謝狀を貰つた▲駐屯でも退治したのかと聞くと「無錢」を支那の兵隊サンに見せた御禮だとある▲學者犬をつれて來た美人軽ハレー、常盤座の舞臺で俄然になつて日本語を喋り散らかしてゐる▲「悲歌」のなかの兵士の唄の文句にこんなのがある「口唇吸つてまつしぐら、お次は滅多に言はれない」▲こんなのは滅多に解説出來ないと臺本を讀み作ら樂屋で悩む▲帝國館が次週に蒲田近來の傑作と評判の高い「お嬢さん」を上映▲マサカ今度はイレミでなからうと映畫鑑賞もいらぬ心配をしてゐるが▲この頃の帝國館の上映順序はどうかしてゐないかといふ聲が高い

十時半から常盤座階上で發會式を擧げるが、第一回として「悲歌」を鑑賞すると

けふの放送

大連 JQAK 二月七日午後七時

▲ニュース
▲獨逸語講座(第二十三課)　大連評學校講師荻原
▲洋樂漫談(レコード使用)　服部龍太郎
▲ハーモニカ五重奏(イ)さかげさかへる、ザアイザート、キャラバン　原齊、中村弘、森繁、村井滿高、岩佐勇(ロ)春のほゝゑみ(ハ)元寇の役務令照尚、小笠原、有光、二宮正美、中村弘
▲放送舞蹈劇(社會部十二號室)

東京 JOAK 二月七日午後六時二十五分

▲講演(一水兵として日露開戰時を語る)　海軍特務中尉中〔…〕
▲東京音樂學校演奏會(日比谷公會堂より中繼)(オラトリオ、キリストの七ツの言葉、ハイドン作)獨唱ソプラノ黒澤貞子、アルト丹治ハル、テナー齋田誠一、バース伊藤武雄、指揮シャーレ、スラウトルップ
▲三曲(一)松島八景　箏小島染井、栗田井久野、三絃大里紫駒井、尺八吾妻知雲
▲天氣豫報
▲料理獻立
▲職業紹介事項
▲ラヂオ體操
▲松美團一座

滿洲日報

龜井藤太郎著（訂正第五版）

熟語本位 獨逸難文詳解

四六判洋布裝 二九〇頁 正價貳圓五拾錢 送料十八錢

獨文解釋法 拾四版 四六判布裝 三二四頁 正價貳圓 送料十八錢

獨逸文法講義 第九版 菊判洋布裝 六五〇頁 正價參圓五拾錢 送料二十七錢

羅甸語獨修 第五版 四六判布裝 三三四頁 正價貳圓 送料十六錢

金刺書店 東京市神田今川小路

品川洋行

西洋家具 室内装飾 設計製作 織物敷物 窓掛壁紙 サノリューム 装飾材料 其他色色

大連市敷島町三番地 電話六〇五〇 振替大連二九五〇

建築設計監督 請負

梶原建築事務所

大連市但馬町十二 電話六二八七番

東京高等工業學校建築科卒業 梶原勇雄

商標 G.Y

車軸油

營業品目

揮發油 石油 機械油

重油 車軸油 植物油

魚油 サラダ油 油類一切

テキサコルーフイング、ピッチ

龍印ボイラーグラへイトペイント

大連市紀伊町五五番地

合資會社 矢野元商店

電話 四八三一・七四三五・一三八番

蓄音器取換開始

今般弊店に於ては皆様の御便利を謀る爲め從來御使用の舊型蓄音器と弊店取扱ひの各種蓄音器を御希望の通り其の差額に依りまして御取換致します誰方も此の好期を失せず御申込の程御願申上げます

米國ブランスウヰック蓄音器 米國ソノラ蓄音器 直輸入商

田中蓄音器店

大連伊勢町 電七八四二番

人氣絶頂！雜誌界の花形

富士

三月號

面白いく！「富士」は日本の國民雜誌！

賣切れぬうち　お早く御覽！

▲定價五十錢（送料三錢）

東京本郷 大日本雄辯會講談社（振替東京三九三〇）

▲壹萬圓物語……谷　孫六

▲惡魔の娘……野村胡堂

▲悉藏火事……大佛次郎

名妓の悲戀哀話——

花月風流第一課

藝界花形評判記

▲とんく拍子物語……

▲現代ユーモア傑作選……

世界珍奇寫眞ニュース

▲人造人間鼠捕りの巻……

▲便利重寶家庭ノート

▲悲境のドン底に泣く

▲長篇小説 愛の戰車……加藤武雄

▲諧謔小説 人生漫畫面……佐々木邦

▲長篇講談 由比正雪……西尾麟慶

▲事實美談 骨肉相呼ぶ……秦　賢助

▲新作講談 譽の陣羽織……寳井琴鶴

▲怪奇小説 幽靈塔……黒岩漁郎

▲傳奇物語 戀ぐるま……吉川英治

▲社會小説 大盜傳……佐藤紅綠

正義の大讀物！

世界の無双猛試合

壯絶凄絶、血湧き骨鳴る

米國白堊館に於て決死の大試合!!

▲人間哀史 さすらひの孤兒……池田宣政

▲義士實傳 風に舞ふ陣笠……小島政二郎

▲洋行土産 見世物奇談……金子光晴

▲滑稽小説 高砂や此の浦船に……川上三太郎

▲愛憎秘及錄……三上於菟吉

▲嵐は凪いで……野村愛正

▲命の三味線……安藤盛

あゝ神か人か、愛と涙に輝く美談！

典獄を泣かせた女（三浦樂堂）

純情と貞節で無類の惡人を導き女性涙の實話！

紫外線透過硝子

ACME-SUN ULTRAVIOLET GLASS

滿洲商工社

尺角¥1.80 共書五錢

大連惠比須町 電3099番

内科 産婦人科

佐志醫院

大連敷島町西通 電話六五〇二番

小兒科専門

金子醫院

醫學博士 金子甚藏

大連西通七八 電七六六一

寫眞

夜間撮影

ヒグチスタヂオ

大連浪速町 電話二二二九番

大連の紙屋

和洋紙各種

製圖小間紙

大連大山通

光明洋行

電話七〇五九

振替大連三四〇

眼科

馬場醫院

ドクトル 馬場庄江

大連常盤橋詰・電話八五七八

産婦人科

岩男醫院

岩男診察室 保科診察室

大連市三河町十八 電話六四六六番

補血強壮增進劑

ブルトーゼ

虛弱體質に

外觀特別な病氣は無いようでも體細胞の總體的に虛弱な人は病氣に對し極めて抵抗力の弱い爲め氣候または食事或は精神的刺戟等の僅かな變化に病氣に罹り易いのであります

例へば冬に入りて少しの寒さに感冒をひき呼吸器を害したり少しの過食與食に胃腸を害したり少しの運動に心臟の鼓動が激しくなつたりするのは全て虛弱體質であります

以上の如き！體質の人は體細胞を刺戟し諸臟器の活動を旺盛にし身體の組織を根本的に改善する補血強壮增進劑ブルトーゼをお服みなれば必ず強健な體質となる事が出來るのであります

ブルトーゼは、已に消化吸收を經て人體の臟器中に必存する有機性燐蛋白質化合物と同一構成でありますから完全に吸收同化され血液臟器を刺戟して著しく血球新産機能を增進する効果があります 幷って榮養を佳良となし體重を增加して筋力を強大に致しますこれ即ち本劑が貧血虛弱の快復に奏功して全身の根本的改善を齎す特殊價値を誇る所以であります

BLUTOSE

大阪道修町二 株式會社藤澤友吉商店

鑛業に關する總ての御相談に應じます

大連市兒玉町四番地 電話六五四四番

八丁鑛業所

電四四九一番

滿洲日報社廣告部

濕布に優る

感冒・肺炎・肋膜炎 咽喉痛

神經痛・ロイマチス・凍傷

等にエキホスの塗布は、最も合理的理學療法として推奬せられ、總ての炎症性疾患に用ふれば强力なる消炎、鎭痛、滲出液吸收の諸作用を營み速かに患者の苦痛を輕減して快癒せしむ、使用法は簡便にして副作用なし

全國藥店にあり

發賣元 武田長兵衛商店 鹽野義商店

製造元 二巴合名會社 大阪市東區道修町

EX. 153

エキホス

エキシカ・ホスビン合併改良品

コドモページ

マイニチ ウガヒヲ イタシマセウ

カラ マイ日、ワスレ
ナイデ ウガヒ ヲ
シナケレバナリマセン
ベウキ ノ バイキン
ヘ 一ベンヨロコンデ
ミナサン ノ ノドニ
クツツキマスガ、ウガ
ヒ ヲ スルト バイ
キン ガ アラヒナガ
サレテシマヒマス、

ワルイ カゼ ガ ハヤリマス
カカラヌヤウニ キヲツケマセウ

二三日マヘ ノ サムサデ マタ カゼヒキガ フエテキタヤウデス、コトシ ノ カゼハ ソンナニ タチノワルイモノデハ アリマセンガ ソレデモ アタマ ガ イタカツタリ タカイ ネツガ デタリシマス、
サムイ フユ モ モウ アト ワヅカデスカラ マダ カゼヲ ヒカナイ カタハ ヨウジン シナケレバナリマセン、マタ 一ド カカツタ人モ 二ドト カカラナイヤウニ キヲツケルコトガ タイセツデス、
ソコデ マヅ カゼニ カカラナイ ヨウジン トシテハ、ダイ一バン ニ、ストーブ ナドニ カジリツイテ バカリキナイコト、オフロ カラ アガツタアトデ サムイ カゼ ニ アハナイコト、アマリ アツギヲシナイコト、マスクヲハメルコト ナドデス、ソレカラ ゼヒ オススメシタイ コトハ ガクカウヤ オソト カラ カヘツタナラバ シホミヅ カ ベンチヤ ナドデ ウガヒ ヲ スルコト デス、トリワケ コレカラ シヨウコウネツ ナド ガ ハヤリマス

童話　子雀と奴凧
群山 實

そ れは、もうそろそろ二月にならうと云ふ、寒い頃の事でした。
町の角にポストがありました。そして、その恰度上に、電信線が何本もかゝつて居ました。雀の子供達は、元氣よく啼きながら、何時もの樣に、この電線に飛んで來ました。すると、自分達よりも前に電線に止まつてゐる者があるのです。それは奴凧なのでした。
「おや、凧のおぢさんがゐるよ」
雀達は一寸びつくりしました。すると、奴凧は、風にゆらゆら揺られながら
「こわくはないよ。おいで」
と、優しく、手まねきをして、見せました。
「こわい顔してるけれど、優しいれ。行つて見やうか」
雀達は、安心して、凧のまはりに、集まりました。
「おぢさん、どうして、こんなところに居るの？」
「あゝ、それはね」
奴 凧は、にっこりして、
「昨日の夕方、坊ちやんが、おぢさんを揚げてたところが風が、不意に横から吹いたので、電線に糸がからみついちやつたんだよ」
と、答へました。
「ぢや、おぢさんは、もう、どこにも行かれないの」
と、一羽が訊ねました。
「あゝ、そうなんだよ」
「あら」
「まあ」
「悲しいでせうね」
みんな、口々に云ひました。
「いや、おぢさんは、ちつとも悲しくは、ないのさ、そのわけはね——」
奴凧は、順々に、雀の子供を見廻してから、ゆつくり口をきりました。雀達は、胸毛の中に首を埋めて、耳を澄ましたのです。
「おぢさんは、これでも、ほんとは背い竹だつたのさ。丘の藪の竹で、仲間にまけない樣に一生懸命に伸びてゐたんだよ。すると毎日子供達が丘の上にやつて來て凧を揚げるんだ。おぢさんは、藪の上の蒼いそらに、日に輝きながら、高く高く揚つた凧を見上げてれ、自分も、一度くらゐあんなに飛んで見たいなあと、何時も思つてゐたんだよ」
子 雀達は、朝日の光がまぶしいので、細い眼をしながら、首をかしげました。
「その中に、とうとう或る日おぢさんは切られて、町の凧屋さんに賣られる事になつた。すると凧屋さんは、おぢさんを、丁寧に細く裂いてれ、上手に曲て凧の骨にもした上に、奴の繪を貼りつけてくれた。それで、いよいよ、おぢさんも凧になる事が、出來たんだよ」
「嬉しかつたでせう」
女の子の雀が口を出しました。
「あゝ、それは嬉しかつたさ。だが、それより、藪で藪を越へて來て、坊ちやんに買はれて、初めて空に揚つたときの方が、餘つ程嬉しかつたよ。
お前さん達は、始終飛んで居るから、さうでもないかも知れないが、併しろ、おぢさんはその時が生れて初めてだつたんだからね。
お ぢさんの望みは、それでかなつたのだから、もう電線に引つかゝつても、破れても、少しも悲しくはないのだよ。いや、それどころか、あの竹藪の仲間達に較べて、づつと幸福だと思ふんだよ」
と云ひ終つてから、奴凧は、も一度、子雀達に眼を撈ました。恰度その時でした。ポストに葉書を出しに來た女の子が、電信線に引つかゝつた凧に氣がついて
「凧さん、可哀さうね」
と、呼びかけたのでした。けれど、雀の子達は、今は
「お嬢さん、それは違ひますよ。凧のおぢさんは幸福なんです」
と敎へてやりたい氣持で、一杯でした。(をはり)

オモチヤノクニノ ゴー・ストップ

ココ ハ オモチヤ ノ クニノオホドホリ デス。ミチ ヲ トホル オニンギヨウサンヤ ジドウシヤ デ タイヘン ニギハツテ キマス。ミチ ノ マンナカニ タツタ コウツウジユンサガ ヒダリテ ヲ アゲテ「ストツプ」ノ アヒヅ ヲ シテヰマス、ワンタン ヘ ビツクリシタヤウニ メダマ ヲ クルクル サセテヰマス。

ほしがき
鳳凰城小學校尋三　中山 幸子

おとゝひ內地からほし柿を送つて來ました、マサ子やヒサシがよろこんで食べながら、おどつてゐます。內地のほし柿はたれがたくさんありますが大へんおいしうございます。お母さんが「めづらしいからよそへもくばつてお出で」とおつしやつたのでくばりました。私はさつそく內地へおれいのお手がみを書かうと思ひます。

童謡　枯れた原つぱ
北村しげる

枯れた原つぱ
一本道だ
朝寢した日は
近道こみち
學校のお門は
そらすぐそこだ
すたこらすたこら
すたこらさ

枯れた原つぱ
一本道だ
あされした日は
鼬がにや連旅
風が吹く吹く
そら寒風だ
すたこらすたこら
すたこらさ

枯れた原つぱ
一本道だ

懸賞童話　唄はぬ小壺
選外佳作　宮崎わたる

羊追ひの笛少年は病に斃へた父を探はりながら蒙古のコロコロタイといふ町へやつてまゐりました。
ここで幾頭かの羊を品物に換へると又羊を追つて淋しい沙漠の旅を始めねばなりませんでした。
で、少年は甲斐々々しくテントをつくつて父を休ませました。
「お父さん一寸樣子を見てくるよ」可愛い一匹の小羊を連れて少年は町へでかけました。何しろ人を見ることそすら稀な蒙古の旅ですから少年は蒙古といふものを、もうかれこれ半年近くも話しかけたことがなかつたのです。でもたつた一人の父は病の蓆に臥も同然だつたからです。それだけに町の人々に接することは少年の久しい願ひの一つでありました。
然し如何うしたのかコロコロタイの町は少年の憧れた蒙古に疲切つて不思議にも沈み切つてゐました。
日はもう高いのに駱駝の鈴の音すらきこえませんでした。
「お爺さん一體どうしたんです」
好奇心にかられて尋ねましたけれど「悲しみだよ……」そう老人は顔をそむけるやうに言ひながら立去りました。
それから暫くして少年は醫者らしい家を探しあてましたので早速丁寧に尋ねて見ました。
「あの、先生に是非診て貰ひたいのですが……父が、寢てゐますので」
「駄目もない、町長樣のお命が危いので、此町の醫者といふ醫者は一人もゐない筈だよ」少年は初めてさつきからの謎がとけたような氣がいたしました。
それから少年は小羊を連れ疲れた足をとある大木の根元に投げ出して遂々眠つてしまひました。
ヒンヒン——高くなく小羊の聲に少年はふと目を覺ましました。なほも小羊はなき續けますので不審に思つて小羊の傍へよりました。そこは綿の叢で所々に名もしらない眞赤な花が咲いてゐました。少年が小羊の體を撫でてゐる時その足元に一つの小壺がころがつてゐました。小羊は物珍しさうに小壺をもたげました。小壺は大部古ぼけて內部を覗いても、幾度かなく振つても何の手ごたへもありませんでした。
少年は一思ひに捨てゝ行かうと思ひましたが、不圖少年らしい興味がその小さな心に閃きました。
そして少年がふたゝび注意深く小壺を耳にあてたとき意外な音響が少年の耳朶をふるはせました。少年はなほも熱心に聽きいらうと努力しました。矢張りそれは生れてはじめて少年が聽く樂しいなる兒童でありました。時にはそれが鳥類ひする程樂しく、時には少年の小さな胸に喰ひ入るやうな悲哀をおびてゐました。少年はもう感動さして自分を忘れて仕舞ふやうでした。そして好奇心にかられながら小壺の口を小羊の大きな耳にはめこみました。小羊はほがらかに笑つて畏の中を雀躍り廻つて果ては少年の體にじやれついて來るのです、少年はもう手の舞ひ足の踏むところを知らず、喜び勇むでテントに歸つて參りました。
「お父さん耳を出して御覽」そう云つて少年は寢てゐる父の耳へ小壺の口をもつてゆきました。しばらくしてニコリ微笑むだ父は「あゝ——」と高く叫んで立上りました。
少年も「あゝ——」といつた儘次の言葉が出ませんでした。はつきり父の口元から言葉を聞きとることが出來たからです。
その時俄に少年の腦に町での出來事が掠めました。
「一つ町長の命を助けてやらう」父によつて少年は小羊を連れ町へ出ました。
「町長さんの家は何處です」やはり町の人々は不親切でした。仕方なく少年は町中をめぐり歩きました。少年は町端づれにそれらしい大きな家を發見することができました。門の內外は町の人で大變な混雜でした。
「おぢさん、僕が町長さんを治してやらうか」玄關口にゐた一人にそう云つて持つてゐる小壺を高く捧げました。不審に思ひ作らもその男はゲラゲラ笑ひ出しました。
「そんな、そんな馬鹿なことが出來るもんか……」
その男は餘り少年を引止めやうともしないので少年は奥へ這入りました。町長は眠るやうに横たはり、その顔は蒼白でした。傍では醫者達がむづかしさうな顔を集めてゐましたので誰にも氣付かれずに少年は町長へ近付くことが出來ました。
やがて「うーん」といふ呻き聲がしたかと思ふと町長の瞳がパッチリ開きました。
醫者達は吃驚しました。そして、その視線が一齊に少年に向けられました。少年は得意になつて仕まひました。それもその筈です、町長さんの命が助かつた喜びで上を下への大騷ぎとなつたからです。その翌日町長の家へ招待をうけた少年親子は甦つたコロコロタイの人々に讚へられながら町長の家へまゐりました。
そして大變なもてなしをうけ、その上世にも珍らしい寶物などを戴いてテントへ歸りました。
歸るとすぐ少年は大切に藏してゐた小壺をとり出しました。そして自分の耳にあてました。あゝけれど小壺は何のこたへもありませんでした。少年は狂氣のやうになつて振つて見ました。けれど遂に小壺はあの美妙な樂聲を傳へては呉れませんでした。
翌朝駱駝の背に財寶を積むだ少年親子はコロコロタイの町に別れを告げました。
でも幾日かの沙漠の旅を思ひ出して淋しくて堪らなくなりました。少年の胸に強く抱いた小壺は永遠に唄はぬ小壺でありましたから。(をはり)

美は生る

正しい心と最上の化粧品

婦人精神文化講座

眞實の教

文學博士 醫學博士 富士川游

自覺

我々が眞實に生きて行くためには自覺が第一であるといふことは毎も申上げて居りますが、その自覺といふことにつきてはいろいろ申すべきことがあります。その中でも世の中にある自分の位置をよく考へて見るといふこと、自分は決して一人で世の中に生きて居るものではなく、多數の人々の中に生活するのでありますから、畢竟大きなる力の中に生きて居るものであると知るべきであります。さうしてその大きなる力の根本を考へて、それを如來のはたらきであると感知するときに、我々は眞に自覺して、まことに自分の小さく智慧のないもので、さうして醜惡のものであるといふことが知られるのであります。さうしてそれは全く如來のはたらきによるものであると感ぜられるのでありますから、そこで佛教の用語で申すならば如來の本願に信順するところに我々が眞實に生きる道が開けるのであります。

如來の本願といふことは毎度申すやうに「至心に信樂して佛の國に生れようとして念佛申すものを必ず佛の國に生れしめる」といふことであります。これを他の方面から申せば「我々をして念佛せしめる」といふことが如來の本願であると言つて差支へないのであります。かやうにして我々が眞に自覺することは念佛にありと申すべきであります。

眞の美人となるにはまづ皮膚美を整へよ

合理的な生活と適切な化粧に就て

醫學博士 三內建治

凡そ女性美を論ずるに當つて健康な皮膚の色彩美が重要なる位置を占むることは古往今來何れの國民にあつても等しく認められてゐる事實であります。でありますから此の皮膚美を增進せしむるためには日く何日く何といろいろの條件が舉げられて居りますがその實行に至つてはまだなかなか十分とは言はれません。依つて私は茲に大綱を論じて見ようと思ひます。

一、新鮮なる空氣に觸れよ

これに最もよきは夏季海水浴を試みた時分から習慣付けて毎朝早く起き、時季によつてヴエランダとか庭に出て全身の冷風浴を行ふのであります。さうして、これを春夏秋冬を通じて斷行するのであります。

また、一日中でも時々戸外に出たり或は窓を開放して適度の換氣法を試むべきであります。

女性の方は一體に帶その他衣類を餘り厚く且つ堅く着て肌と衣服との間の空氣が澱滯することがありますから時々この衣類を緩めることも必要なわけであります。

二、日光に觸れよ

扨てまた新鮮な空氣に觸れることは理窟から云へば夜間でも出來ますけれどもその外尙ほ太陽の光線に無關心であつてはなりません。即ち家にゐる場合には成るべく日當りのよい室にゐること、さうして時々郊外に出かけて十分な日光浴をするやうにせねばなりません。

三、運動をせよ

運動は血液の循環をよくし一般身體の新陳代謝を促進しますから自然皮膚毛髮の色をよくするのであります。この意味から近來女子のスポーツが旺んになつたことは喜ぶべき現象であります。

四、滋養物を攝れ

人は日々の活動に依つて體力の消耗を來します。故に適度の榮養を攝つて之を補はなければなりません。それには榮養價の多く而も消化し易いものでなければなりません。榮養價の少い不消化物を多量に攝つても消化管の過勞を來すのみで、却つて一般の健康狀態を失し、從つて皮膚の美しさをも減退させます。

五、沐浴を怠るな

溫浴等一般に沐浴は皮膚の美を增進する最もよきものであります。然しながらこれも度を過すと却つて害を伴ふことがあります。また其際に用ふべき石鹸其他の化粧品に粗惡なものを用ひては却つて皮膚を荒らして醜くするものでありますから、これは必ず優良製品(カテイ石鹸 クラブ石鹸 クラブ洗粉 クラブ白粉 クラブ美身クリーム等)を常用しなければならないのであります。尙ほその外に皮膚の美を保つに必要なことは

六、睡眠は十分に精神は快活ならしむること

であります。斯くして內的に健康を增進することに努めることゝもに、常に精神を爽快に保ちそれに加ふるに更に外的に皮膚の美化を齎す純良なる化粧品(カテイ石鹸 クラブ石鹸 クラブ白粉 クラブ洗粉 クラブ美身クリーム等)の合理的使用と相俟つてそこに始めて完全なる皮膚美が生れ女性美が生れるのであります。

お顏のアレない

カテイ石鹸 クラブ石鹸

寒さは申すもののの寒さはなかなか嚴しく、アレ性の方などは今が一番お困りになる季節です。特にこの嚴寒の頃には洗顏料の御選擇に十分御注意なさらねばなりません。

石鹸や洗粉などの良くない品を使ふことは却つて皮膚を荒すやうなものです。

唯今一番安心して使へる洗顏料として盛に用ひられてゐるのはカテイ石鹸クラブ石鹸とクラブ洗粉であります。このカテイ石鹸クラブ石鹸はクラブ洗粉本店で美容學上多年の苦心研究を重ねて創製した理想的の優良品で皮膚を清淨純潔にすると共に適當な美身料として作用し更に皮膚上の有害細菌類を殺菌消毒する衞生的效果が極めて著しいのであります。最近三內醫學博士の嚴密な實驗によつてもその偉大な醫學的價値を明確に立證されたのであります。

美と健康を增す

クラブ石鹸

クラブ化粧品本店は

常に良品を廉價に生產提供せり

東洋第一のクラブ化粧品本店は十數年以來率先產業の合理化による能率增進を實施し合理的なる大量生產を行ひ更に品質の改善と分量の增加に努め且つ販賣上最も公正なる正價を確保し優良品の廉價提供を實行しつつあります。今後も尙ほ科學的管理の定則により生產、販賣、消費三部一體の合理化を圖り我國現下の產業革新時代に善處し以て國家の繁榮、社會の福祉を增進する事に努むる覺悟であります。

化粧は進む

お人形の美しさから近代美の創造へ

御婦人方の人氣を一つに集めたクラブ肌色白粉

女子教育の著しい進歩發達とスポーツの盛んな流行は御婦人方の化粧に對する趣味感覺を一變させようとしてゐます。同時に近代人の化粧に對する好尚も最近特に變化して參りました。

お人形の美しさから潑剌たる健康美、品位ある近代美の創造へ

化粧は今や時代と共に進みつつあります。全く素晴しい美の躍進でございます。この美的進歩に應じ創製されたのがクラブ肌色白粉であります。クラブ白粉本店では時代の要求を充たすために日夜研究を續けて居りますが、最近更に品質の改善と共にクラブ固煉白粉、クラブ煉白粉、クラブ水白粉、クラブ刷白粉、クラブ粉白粉、クラブビシン、御綿用クラブ白粉等

クラブ白粉の全種類に亘つて從來の白色の外に肌色を創製發賣

致して居ります。このクラブ肌色白粉は、何れも肌色とは申すもののお顏に強く色づく程のものではなくお化粧を態とらしくなく目立たぬやうにし巧みに生地の自然美を活かし輝く健康色を現はすものでありますから、從つて日本婦人の生地の色にピツタリと調和した明るい新鮮なお化粧が出來るのでございます。殊にクラブ白粉の肌色はクラブ本店の優良な技師が研究に研究を重ねて創製したものでありますから、お化粧榮わがいかにも自然であり若々しい健康色を現はす點に於いて斷然優越して居ります上に分子が最も微細でノリノビ共に申分がなくどんなにお化粧慣れない方でも自由自在に濃淡思ひのままの美しいお化粧が出來ますので御婦人方の人氣を一つに集めて居ります。

このクラブ肌色白粉は皆樣が毎も御愛用になる純白色のクラブ白粉

と同じ樣にお用ひになつて少しも差支へないのでございますが、若し區別をして說明致しますと、特に健康色をお好みの方や稍々黃色味の勝つたお顏の方、日ヤケした方、又は紫色やお納戸色の着物を召した場合にお用ひになるとお顏とお化粧は一段とよく調和し活き活きとした輝く健康美を添へるのでございます。

尙ほクラブ白粉には肌色の外に品位ある白色、清新な水色、明るい桃色等各色の白粉がありますが、いづれも個性的な美しいお化粧をお好みになる方によつて盛んな御愛用を受けて居ります。

クラブ白粉と共に女學生方や活動的御婦人方の間に素晴らしい人氣を博してゐるのはクラブビシン(白色、肌色)でございます。

このクラブビシンは少しの時間と僅かな手數で清新な薄化粧の出來る

便利白粉で尙はその上アレ日ヤケ止めとしても極めて有效であります。

クラブビシンの早化粧は、まづお顏をカテイ石鹸かクラブ石鹸又はクラブ洗粉でお洗ひになつた後クラブ美身クリームをつけるやうにしてお擦込みになるか、その時間もない時にはクラブ乳液又はクラブ美身ゼリーをガーゼに浸してお顏から頸筋をよく拭つた後お用ひになつてもよろしいのでございます。かうなさいますと、僅か一、二分で見るからに清新な薄化粧が美事に出來上ります。

若く美しく健やかな皮膚のアレ止には

クラブ美身クリームの御常用が最も有效

寒さ烈しく

いよいよ嚴冬が訪れて參りました。澄み切つた水のつめたさ、寒風は身を切るやうに鋭く、朝夕の水仕事や御外出の度毎に美しいお肌がアレます。また、廣々と銀色に輝く雪の野に山にスキーを樂しむ美しい方々も雪と寒氣のために大切なお顏やお手がアレたり雪ヤケしたりすることをお忘れになつてはなりません。この皮膚にとつて大切な時期には

アレ雪ヤケ

止めに一番よいクラブ美身クリームをお用ひになるのが最も有效です。

元來皮膚は身體の外圍をなしてゐるものでありますから外界からの種々の刺戟を受けやすいのであります。即ちある時は日光や風雪に曝され、ある時は溫熱寒冷や塵埃黴菌に侵される等種々な原因によつてアレやヒビ、凍傷等を生じるやうになります。これ等の皮膚障碍をそのままにして置くことは

天性の美を

損ふばかりでなく、ひいてはアレた皮膚から種々の病原菌が侵入して重い全身病の原因となるやうなこともあります。

優良な美身料によつて皮膚を美しく健かに保護されることは美容上からも保健上からも實に重大な意義をもつものであります。

最近醫學博士三內建治氏が各種の化粧用クリームのアレ止としての效果や殺菌力等に就いて

嚴密な實驗

を行はれた結果によりますとクラブ美身クリームが斷然優越せる成績を示すことが證明されたのであります。それによりますと、博士は極くアレた皮膚に就いてまづその皮膚上に附着寄生してゐる細菌數を調査し次に毎日數回一定量のクラブ美身クリームを塗布しましたところが、非常にアレてゐた皮膚が完全に健康なスベスベとした美しい皮膚となり殊に

面白いのは

皮膚上に附着寄生してゐた細菌數が驚く程減少したといふことを報告されてゐるのであります。

クラブ美身クリームが日ヤケ雪ヤケ止めとして最も有效であることは既に三內博士の實驗によつて證明されて居りますが、更にこの實驗によつてアレ止めとしても亦第一等の優良な美身料であることが證明されたのであります。

優良國產品

クラブ美身クリーム

寒風は烈しく益々皮膚のアレる時です クリームの最大需要期です 優良國產クラブ美身クリームを朝に夕に御常用下さい

最上の白粉

クラブ白粉

夙川より六甲を望む

虹と兜虫 (36)

龍膽寺雄作
一木弴畫

玖須子爵(十一)

「あら汚い!」
瓏瑚は玖須子爵の指で流し棄てられた床の蜘蛛を眺めて、わざとらしく仰山に叫ぶんでした。
「ずゐぶん大きな泥棒蜘蛛れ!」
「これ泥棒蜘蛛ッて云ふんですか?」
子爵が薬卷を啣へたまゝ彼女を見ると、瓏瑚は子爵と二人きりのひツそりしたこの寶藏の中で、不意に年にはませた挑む樣な眼をして、
「識らないわ。でも、……多分泥棒蜘蛛よ」
「どうして?」
「どうしてもよ」
「どうしてでもツてことがあるんですか」
「だツて、こんなお藏の中へこツそり這入つて、兜の鉢のところに忍んで居るなんて、泥棒みたいぢやなくつて?」

子爵はつい明るく笑ふんでした
「なるほど!、してみると昨夜の鎧櫃の盗賊も、こいつの仕業だつたかも知れないツてことになりますれ。えゝ?……」
さうして、甘へる樣に自分に凭れた瓏瑚の、華奢な柔かい肩に手を置いて、その指先で擽ぐつたく彼女の頸をなでながら、不意に彼女の耳のところへ口を屈めると、温かい息と一緒に囁くんでした。
「あなたにいゝものを見せてあげませうか?」
「なアに?」
瓏瑚は意味ありげな相手の微笑に、意識的におとなしく身をまかせながら、
「見せて頂戴!、何よ」
「見たい?」
「えゝ。見たい」
「何だかあてゝ御覧なさい」
子爵は年頃近い女の子らしいおツとりと柔かな彼女のからだを後から片手で抱き締めながら、耳に頰を擦りつけて、
「あてたら見せてあげませう」
「だつて」
瓏瑚は靜かにもくからだをくねらして、
「わからないんですもの、あたくし……見せてよ」
「でも、あなたがたに見せちやいけないものなんです」
「あら、なぜ?」
「なぜでも」
「厭よ、見せなきア!」
瓏瑚は窮屈な子爵の腕の中で無理やりからだの向きを變へると、相手をスベスベとむきだして相手の頸へからみつくんでした。
「よ!、見せてよ」
「だから何だかあてゝ御覧なさいツて云つて居るんです」
からだの未發育のわりに瓏瑚はお尻がムツクリと大きい。細い腰へ軽く帯を廻して居るので、後ろからそこへ手を廻して抱いてみると子爵は大きな鱗でも抱いて居る樣な氣がするんでした。
「わからないから見せて頂戴ツて云つてるんぢやないの」
「ぢやれ」
と、子爵は瓏瑚の擽ぐツたく囁けた耳へ温かく唇をおしつけて、小さく
「見せて上げますから、誰にも内緒ですよ」
「えゝ」
「そのかはり」
と、子爵はもつと強く瓏瑚を抱き締めて、
「またあとで、あれをさせるんですよ」
「何を?」
「この前の日曜に書齋でやつた樣な……」
瓏瑚は子爵の腕に抱かれて、薄らに上氣した頰を子爵の頰から離くと、何かしら仇ツぽく微笑んでみせて――それからうなづくんでした。
「いゝわ、しても」
「ぢや御覧」
子爵は傍らの古びた鎧櫃の蓋を開けると、屈んで底へ指を入れて古い鎖な鏡輪を一枚つまみ出すんでした。

新刊紹介

▲書地其社
▲現代(二月號)「早春讀物號」と銘打つて「歐洲の印象」後藤靜香「新世界巡禮」清澤冽「議會の精鋭十闘士」山浦貫一「波瀾を越へて」武藤山治氏自叙傳「故小村欣一侯の内面生活」小林宗吉「心境を語る」阿部、堀切市川「科學漫談」「大老舗物語」矢田挿雲、外白井喬二、中村吉藏、武者小路實篤、三上於菟吉諸氏の小説戯曲、特輯讀物をして「テス物語」「三つの死」「わんぱく王子武者修」を收む(價五十錢講談社)
▲殖民(二月號) 特輯海外成功新活動地帯發見號と題して海外殖民地の事情を詳細に紹介してゐる(價五十錢東京市麴町區下六番町山本殖民通信社)
▲經濟月報(第四十九號) 中國海關輸入新稅則、上海に於ける茶業、釐金廢止に關する各面觀、一九三〇年に於ける中國の紡績業、其他(非賣品上海黄浦灘二四號上海日本商工會議所)
▲關東州貿易月表(十二月號) 價五十錢關東長官官房文書課
▲希望の家(二月號) 價十五錢東京牛込區新小川町三丁目日本産業教育協會
▲石楠(二月號) 臼田亞浪氏主宰の俳句雜誌(價五十錢東京市外中野町西町四〇其社)
▲滿鮮(二月號) 價五十錢市內須磨町六其社
▲畜産雜誌(二月號) 價二十錢札幌市北海道廳畜産課內北海道畜産協會
▲世界と我等(二月號) 價十錢東京市麴町區丸の內二ノ十二國際聯盟協會
▲職業紹介公報(第八十六號) 非賣品東京市丸の內中央職業紹介事務局

滿日柳壇課題
▽題 「根氣」「親」「ダンス」
▽締 二月十五日着便
▽句 各題五句必ず別紙のこと
▽宛 大連市能登町十高橋月甫

▲滿洲短歌(二月號) 價三十錢市內桃源臺二九六滿洲鄉土藝術協會
▲新早稻田文學(二月號) 價三十錢東京市北豐島郡高田町一五六九新早稻田文學會
▲フイルハーモニー(二月號) 音樂雜誌(價十錢東京府下荏原町中延一一五四新交響樂團)
▲歐西亞事情(第百卅三號) 本號には勇敢なる鬪士として白軍の討伐に從ひ錚々たる共産黨員たりしドンパーゼが翻然悔悟して共産黨に反旗を飜しゲ・ペ・ウの正體、赤色テロの狀態を暴露詳述した懺悔錄を收む
▲大阪パック(二月一日號) 例によつて奇拔な漫畫、漫文時事漫畫例の如く豐富に收む(價二十錢大阪市東區横堀二丁目一六輝文館)
▲無線電話(二月號) ラヂオ研究雜誌(價五十錢東京市日本橋區通一丁目村ビル日本無線電話普及會)
▲物價賃銀調査月報(第十號) 非賣品閣〻長官々房文書課
▲改造(二月號) 「ソウエート五ケ年計畫畫報」十六頁卷頭に異彩を放ち「政治議會より經濟議會へ」河村又介「恩百論」長谷川如是閑「建直しは可能か」猪俣津南雄「イスクラ時代のレーニン」大山郁夫等の論陣「國王の逃亡」小牧近江「プラザ、巴里!」名賀京助「世界情勢」「獄中感想錄」鍋山貞親「日清談判破裂して」丸木砂土「近衞公と貴族院」馬場恒吾「驚異の前へ!」德永直「丹下氏邸」第二「ドメス」前田河廣一郎「女の記錄」三宅やす子「寶心」池谷信三郎その他(價五十錢東京市芝區愛宕下町改造社)
▲政治經濟公論(二月號) 價五十錢東京市赤坂區氷川町その社
▲思想と生活(一月號) 價二十五錢京城、鐘ゲ岡、共存會館內共存社

皮膚は常に健かなれ

餘寒尚身に泌みて風刃剪々 肌膚は荒れ勝ちとなります 肌膚を整へ常に健かならしむるには 品質優秀にして淨化力強く 而も作用は緩和で泡立程良く 洗ひ流せば石鹼分を殘さぬ ◎ミツワ石鹼 が眞に其保健と整容とに適してゐます

溶け工合に立つ泡沫に

些のムダ無く 心地良く溶けて溫雅な芳香を包む泡沫に 汚垢を洗ひ流す心地は寔にさつぱりとして ◎ミツワ石鹼 ならでは得られぬ感じがあります 而も價格は安く 中途で溶け崩れることなき德用さも亦 この石鹼が有する特徴の一つであります

程良く溶けて 作用は緩和なる

◎ミツワ石鹼

邦人の顏面 肌膚 毛髮に適し 溶け崩れず三倍保つ

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士 小野○民
藥學士 ○○○○氏
農學士 ○○○○氏
工學士 ○○○○氏
工學士 ○○○○氏

本舖 東京 ◎丸見屋商店